

「公共下水道への接続」に関する  
調査結果報告書

上下水道局 経営総務課

令和4年3月

## 調査目的

公共下水道への排水設備が未接続（未水洗の家屋、浄化槽による水洗化家屋）となっている建物所有者及び建物使用者を対象に未接続となっている理由や今後の意向等をお聞きし、水洗化の促進を効率的に進めていくことを目的として実施しました。

## 調査方法・期間

令和3年10月1日現在の水道使用者うち、公共下水道への排水設備が未接続となっている建物所有者及び建物使用者を対象として、令和3年10月29日から郵送による調査を行いました。

郵送済件数 929件（内訳：建物所有者105、建物使用者824）

回 答 数 442件（内訳：建物所有者 48、建物使用者394）

回 答 率 47.6%

### <内訳>

区 分	用 途	送付数	返信数
A (建物所有者)	共同住宅（汲み取り）	21	7
	共同住宅（浄化槽）	68	34
	借家	6	4
	貸倉庫	10	3
	小計	105	48
B (建物使用者)	戸建・事業所	824	394
	小計	824	394
	合計	929	442

## 調査結果（A）建物所有者用

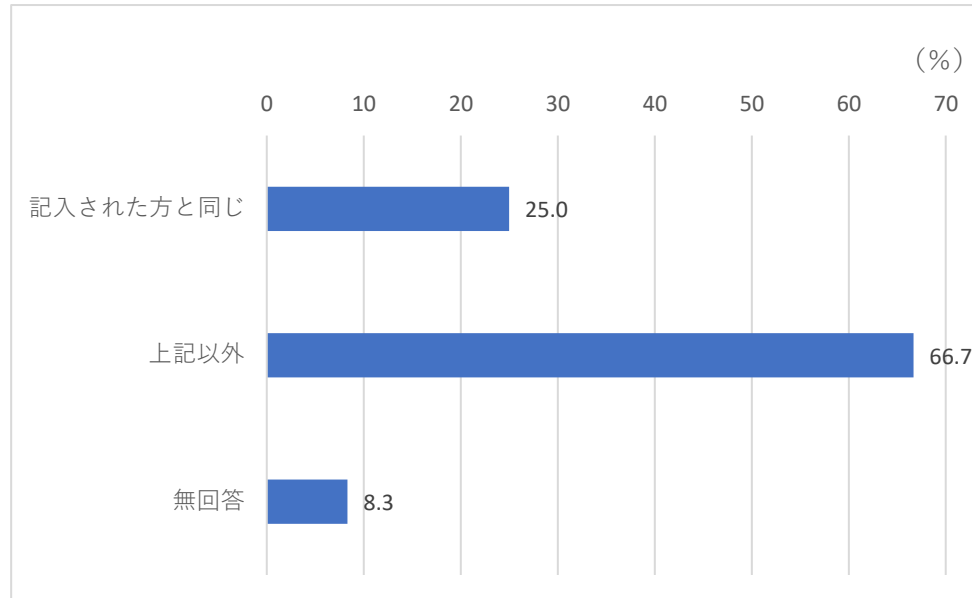
### 1.建物等の状況について

問1 記入された方の住所、氏名、電話番号をご記入ください

—

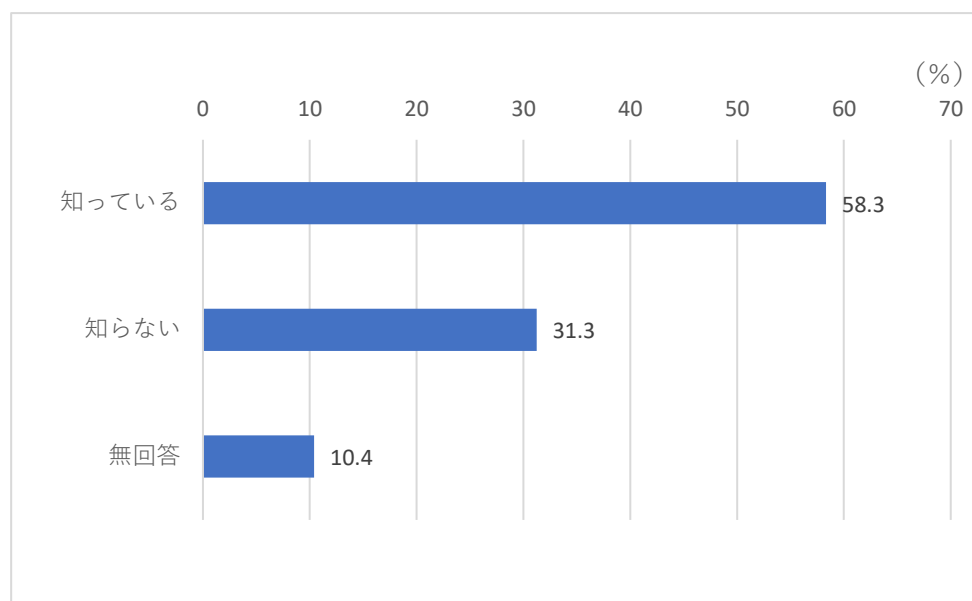
問2 所有建物の住所をご記入ください

「所有建物の住所以外にお住まいの方」が66.7%、「所有建物と同じ住所にお住まいの方」が25.0%であった。



問3 汚水や雑排水の排水設備について、公共下水道に接続することが法律で義務付けられていることはご存じですか？

「知っている」が58.3%、「知らない」が31.3%で、約60.0%の方が法律で義務付けられていることを知っていた。

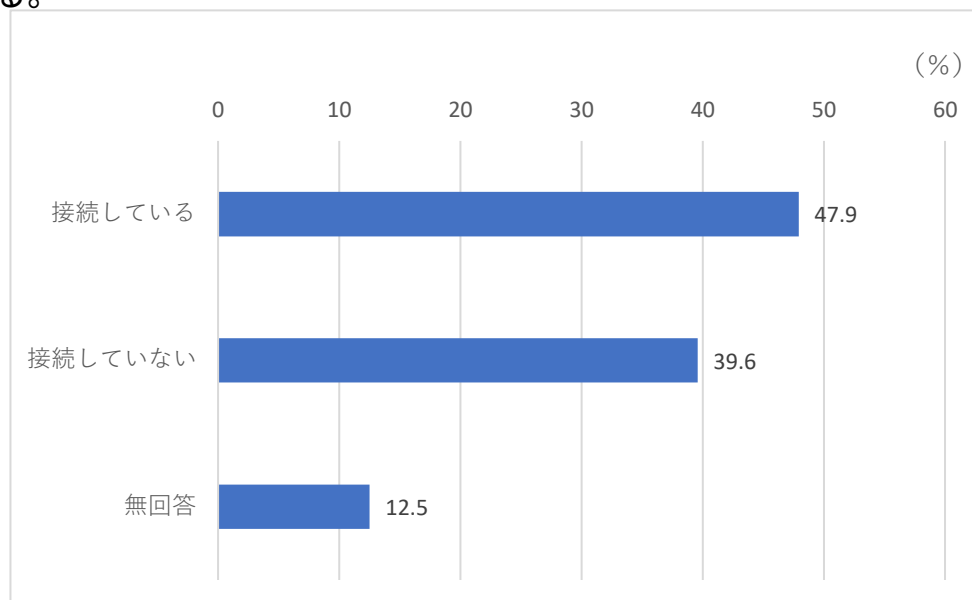


---

**問4 汚水や雑排水について、公共下水道に接続していますか？**

---

公共下水道に「接続している」が47.9%と高い割合ですが、浄化槽と区別されていないことも考えられるため、今後それらの実態を把握していく必要がある。



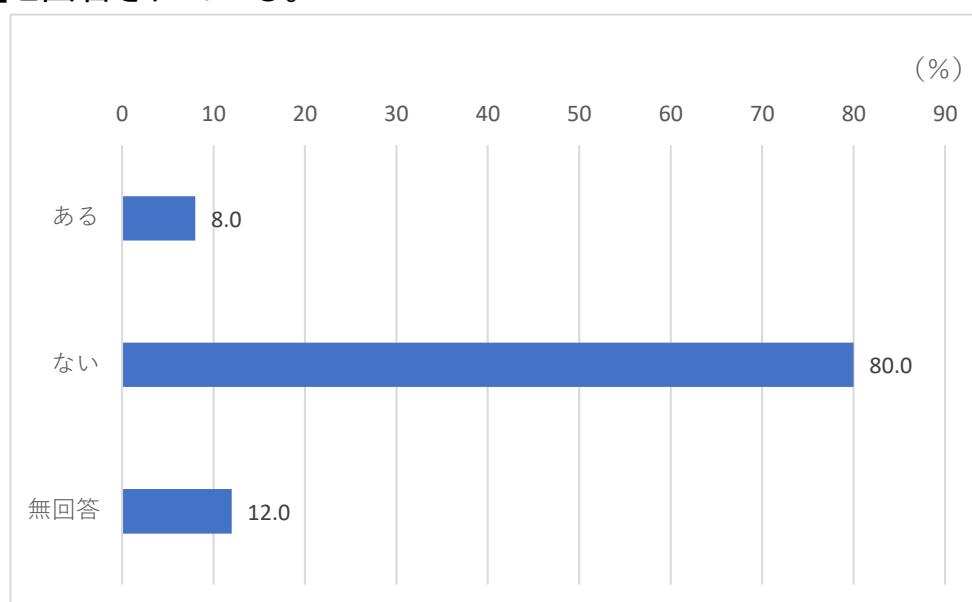
※問4で「接続している」を選択された方は、質問は以上で終了

---

**問5 建物の建替えの予定はありますか？**

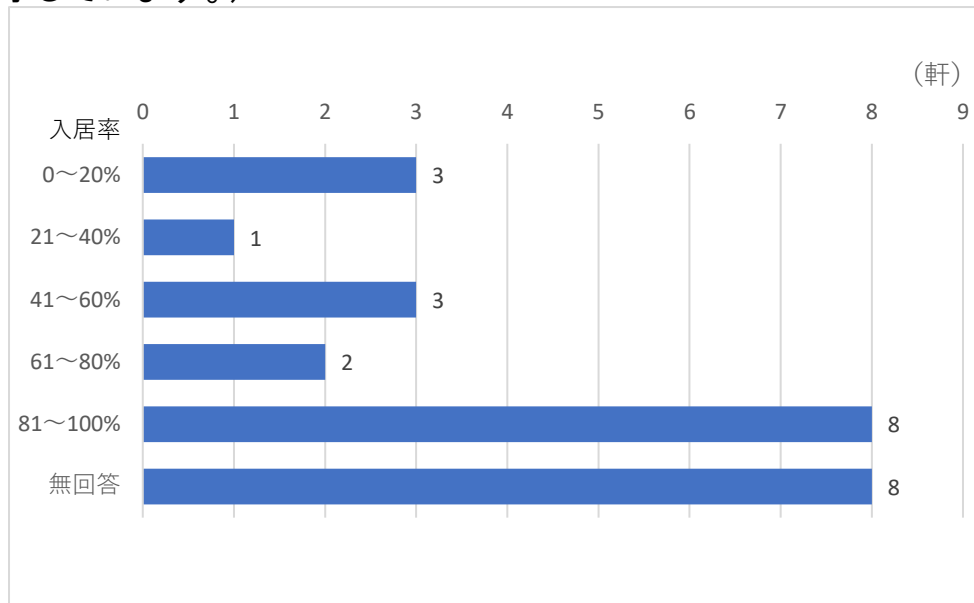
---

予定が「ある」が8.0%に対して、80.0%の方が建物の建替えの予定が「ない」と回答されている。



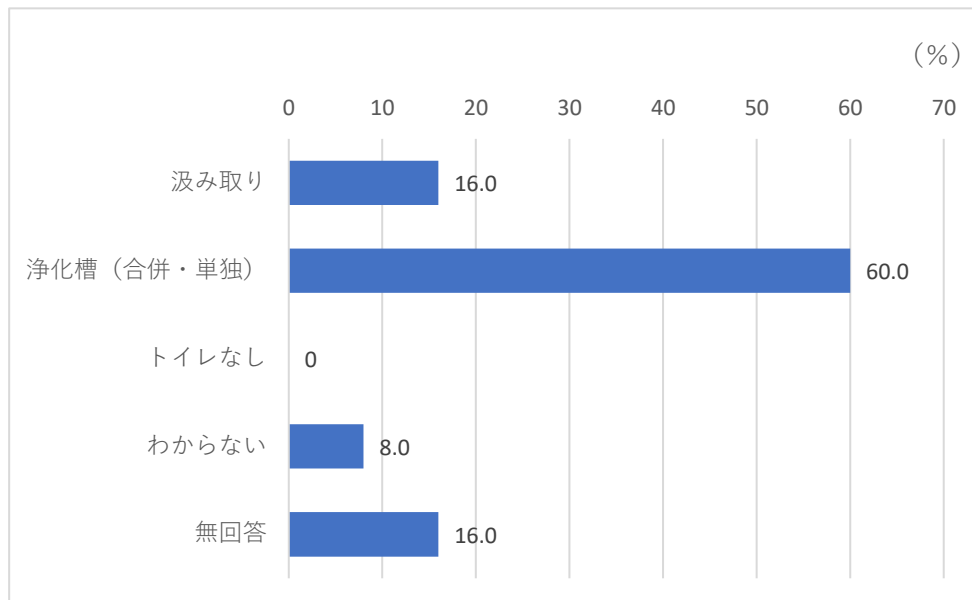
### 問6 現在、何軒が入居されていますか？

入居率「81～100%」が8軒であった一方、60%以下が7軒あった。  
(調査では全体軒数と入居軒数を記入頂いたが、結果では割合(入居率)を表示しています。)



### 問7 トイレの処理状況について

「汲み取り」が16.0%に対して、「浄化槽(合併・単独)」が60.0%であり、浄化槽の割合が多い。

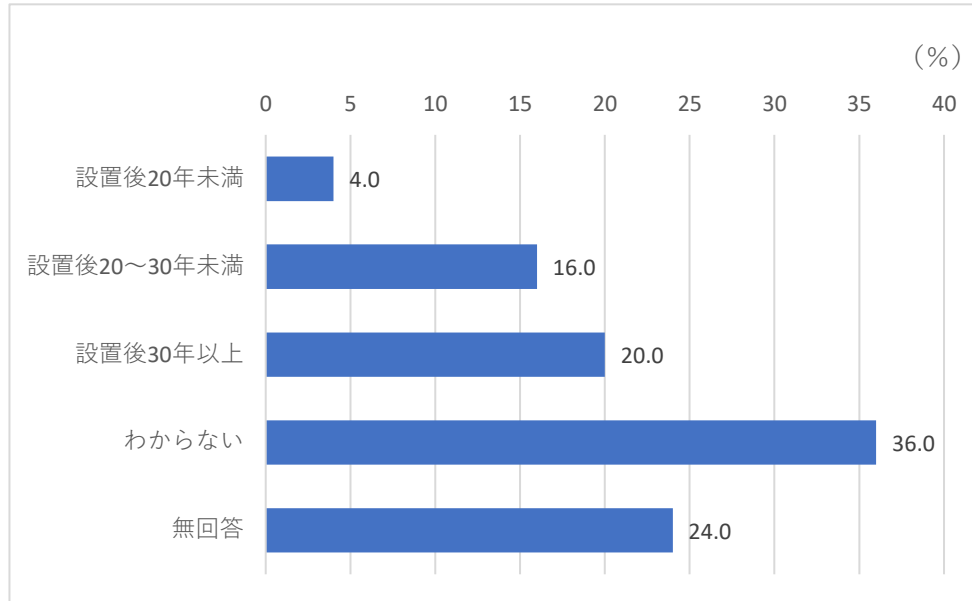


---

## 問8 浄化槽の設置時期について

---

「わからない」と現状を把握されていない方が36.0%であった一方、一般的に耐用年数とされている「設置後20～30年未満」と「設置後30年以上」を合わせて36.0%であった。



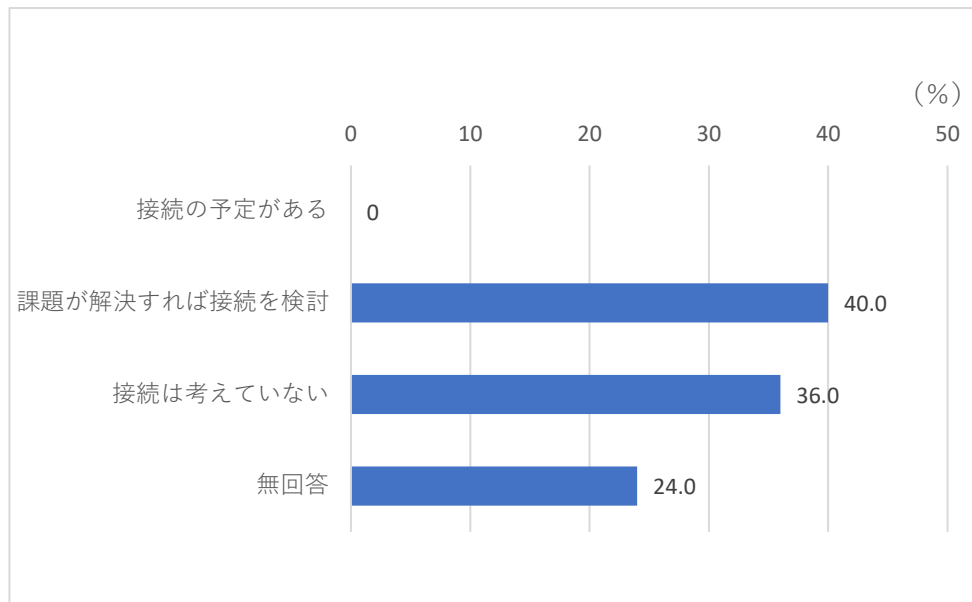
## 2. 今後の接続に対するご意向について

---

### 問9 公共下水道の接続について

---

「課題が解決すれば接続を検討」が40.0%、「接続の予定がある」は皆無であった。



---

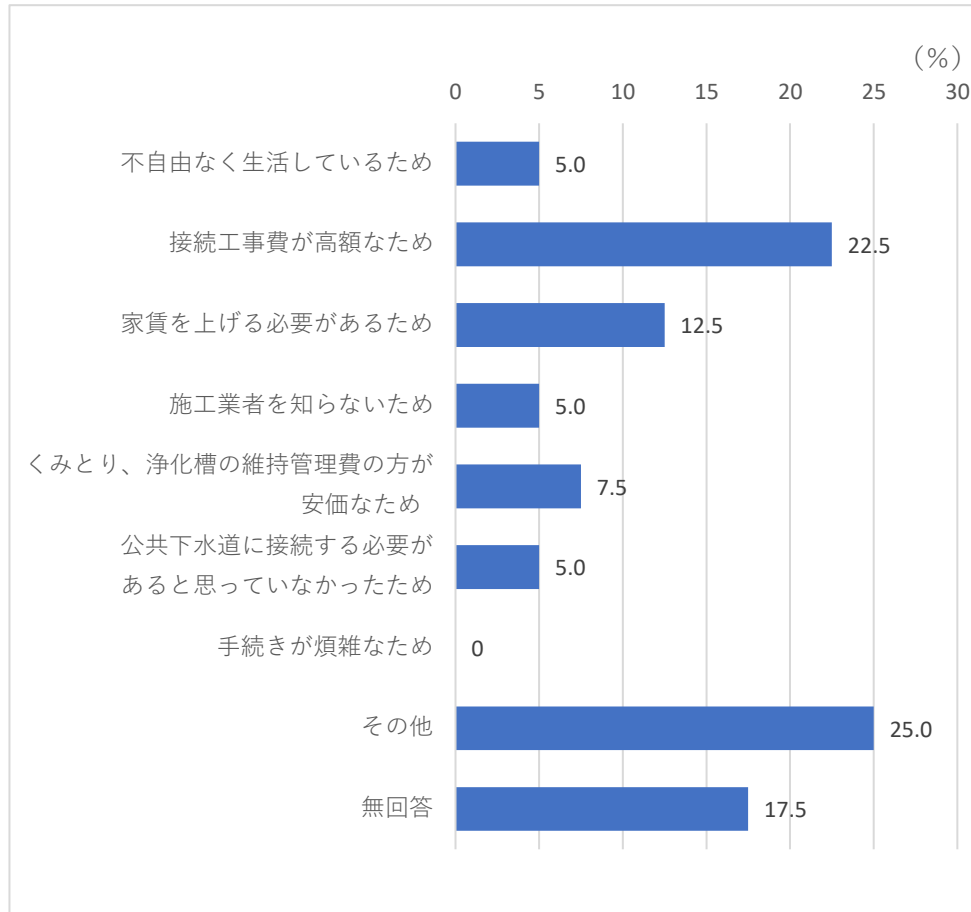
### 問10 問9で「接続の予定がある」と回答された方で、下水道への接続の予定について

---

「接続の予定がある」が皆無のため「該当なし」

問11 問9で「課題が解決すれば接続を検討」「接続は考えていない」と回答された方で、接続しない理由(課題)について(複数回答)

「接続工事費が高額なため」22.5%「家賃を上げる必要がある」12.5%など、費用面での課題に対する割合が高かった。

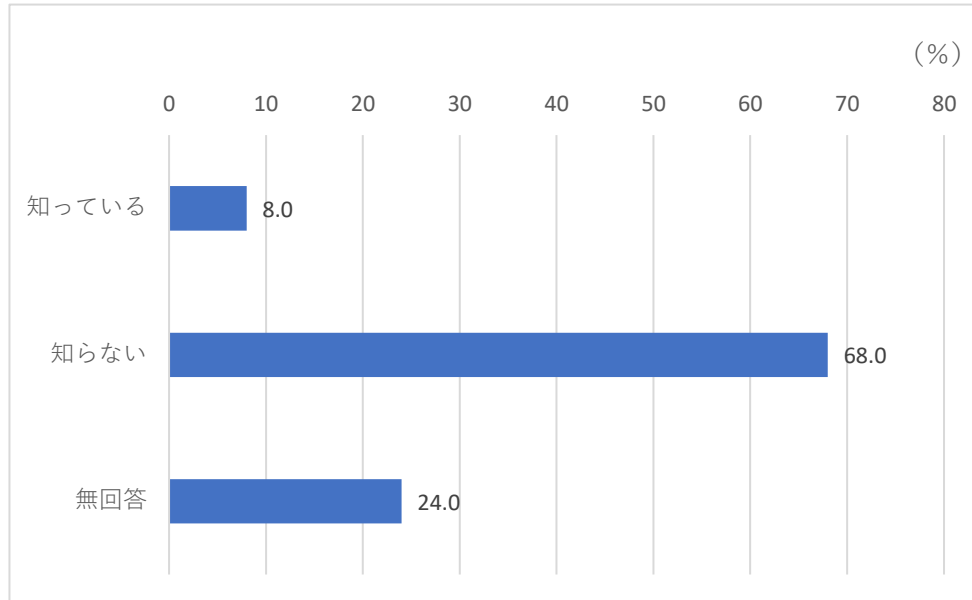


---

問12 寝屋川市が実施している融資あっせん制度があるのをご存じ  
ですか？

---

「知らない」が68.0%であり、制度の存在が知られていないことがわかった。

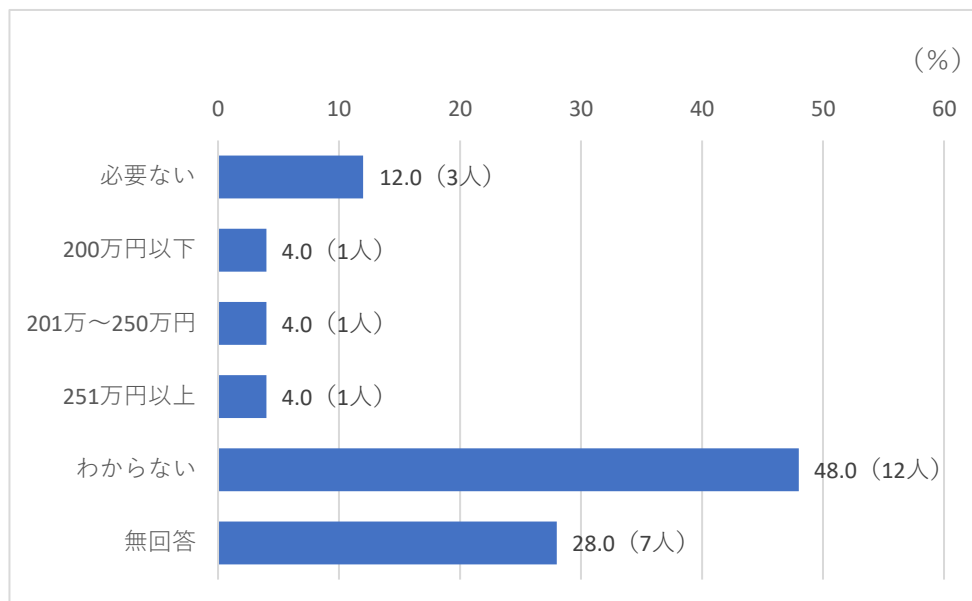


---

問13 どれくらいの融資額があれば改造工事を検討されますか？

---

「わからない」が48.0%、「必要ない」が12.0%であった一方、現在の融資額の200万円(共同住宅等)を超える「201万～250万円」及び「251万円以上」が各々4.0%(1人)であった。



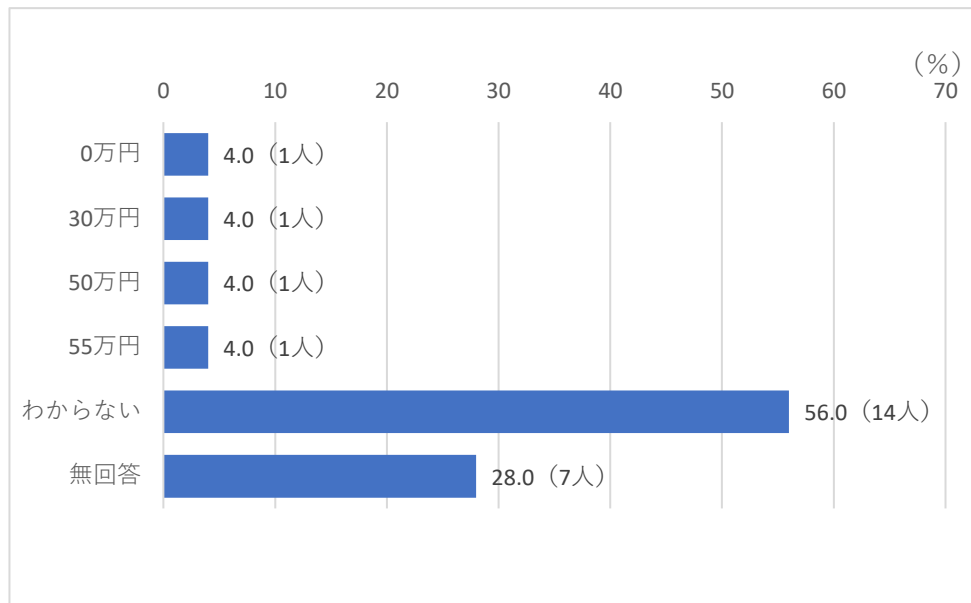


---

**問14 どれくらいの費用なら改造工事に支出できますか？**

---

「わからない」が56.0%、「30万円」「50万円」「55万円」が各1人であった。  
(自由意見として記入して頂き、平均金額は33.8万円)

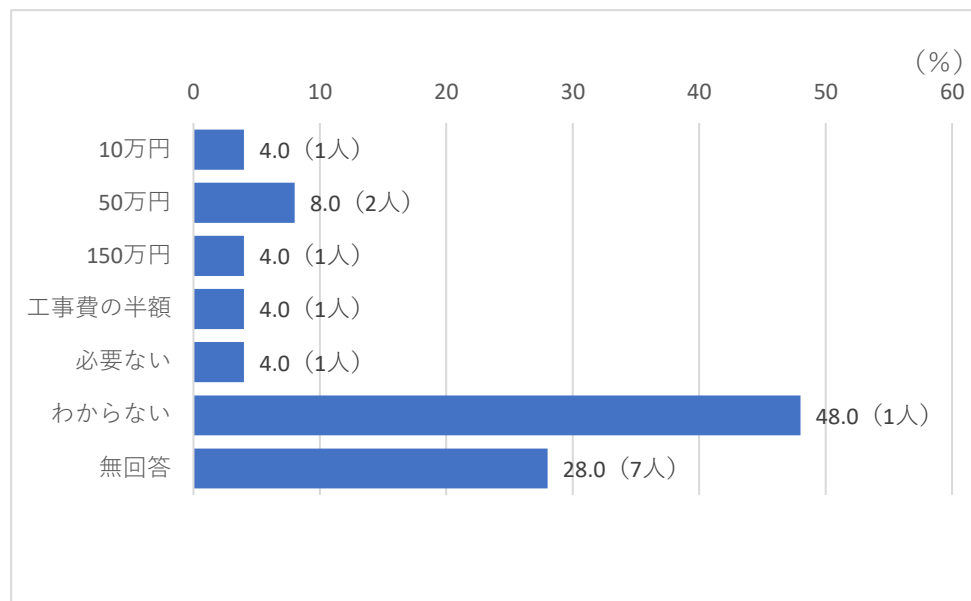


---

**問15 融資の他に、どれくらいの補助金による支援があれば改造工事を検討されますか？**

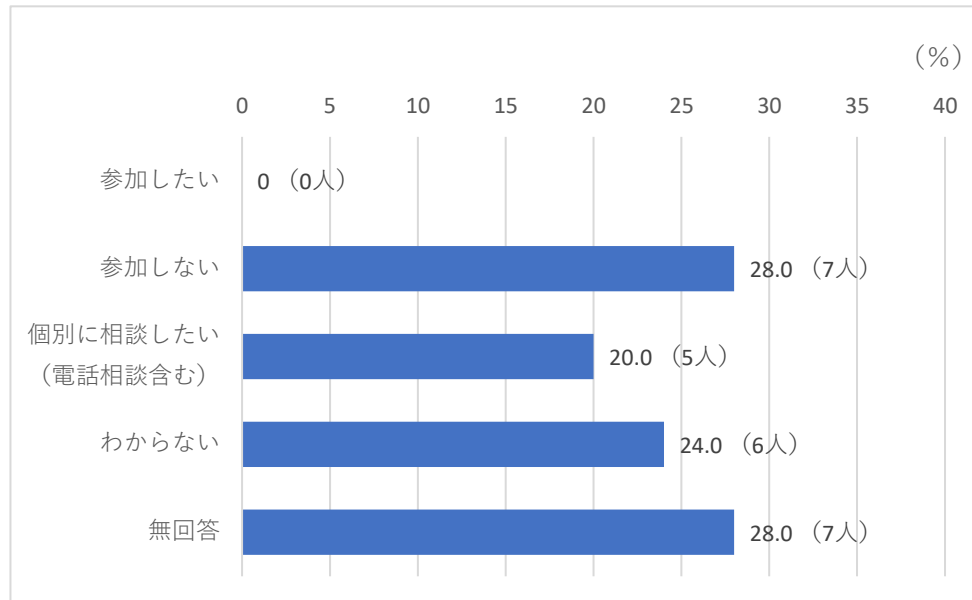
---

「わからない」が48.0%、「必要ない」が4.0%、「10万円」「150万円」が各1人、「50万円」が2人であった。(自由意見として記入して頂き、平均金額は65万円)



## 問16 公共下水道への接続相談会を開催した場合参加されますか？

「参加しない」が28.0%（7人）であった一方、「個別に相談したい」が20.0%（5人）「わからない」が24.0%（6人）であった。



## 調査結果（B）建物使用者用

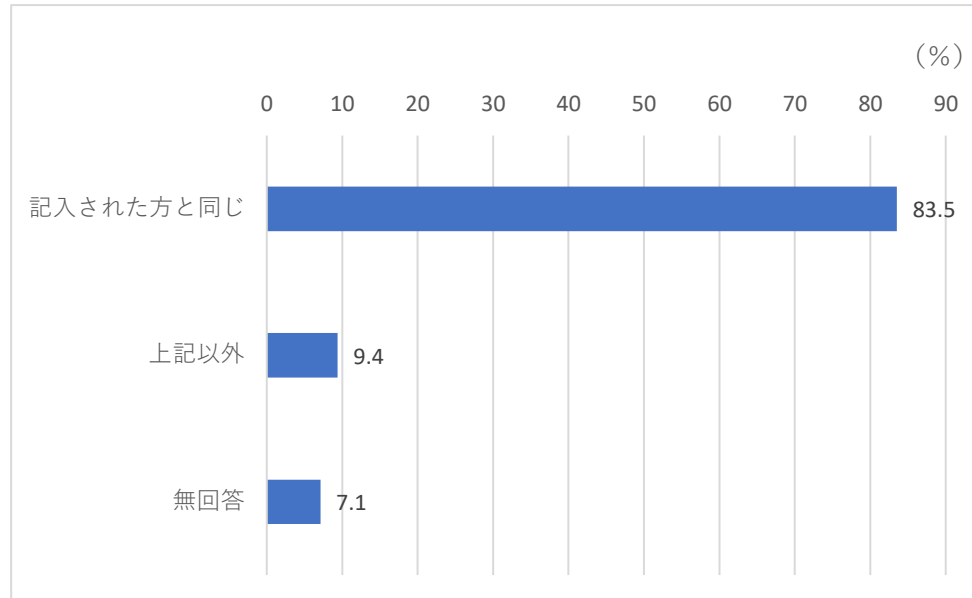
### 1.建物等の状況について

問1 記入された方の住所、氏名、電話番号をご記入ください

—

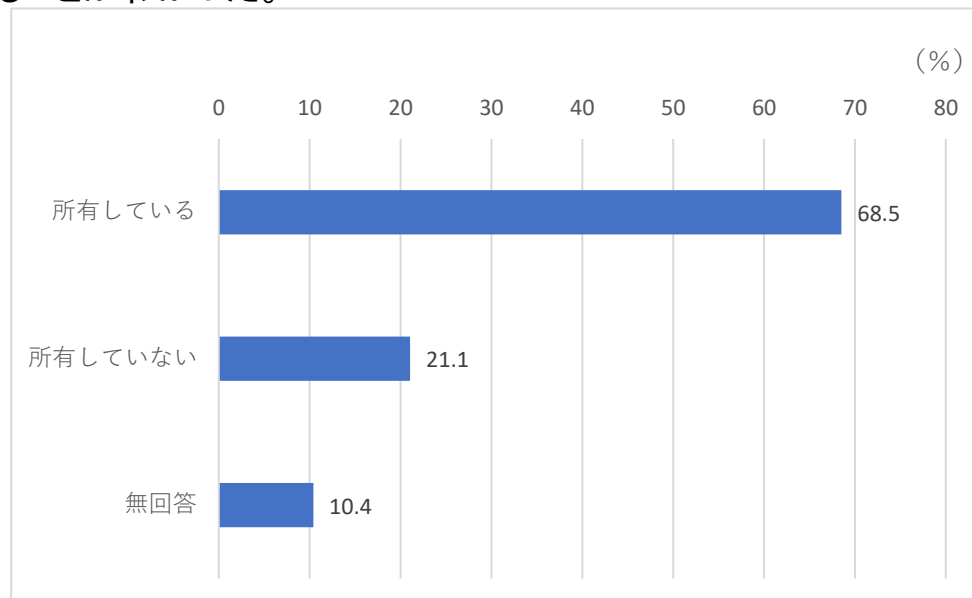
問2 水道使用場所の住所をご記入ください

「所有建物の住所以外にお住まいの方」が9.4%、「所有建物と同じ住所にお住まいの方」が83.5%であった。



問2-2 問2の水道使用場所の建物等の所有についてご記入ください

「所有している」が68.5%、「所有していない」が21.1%で、約70%が所有していることがわかった。



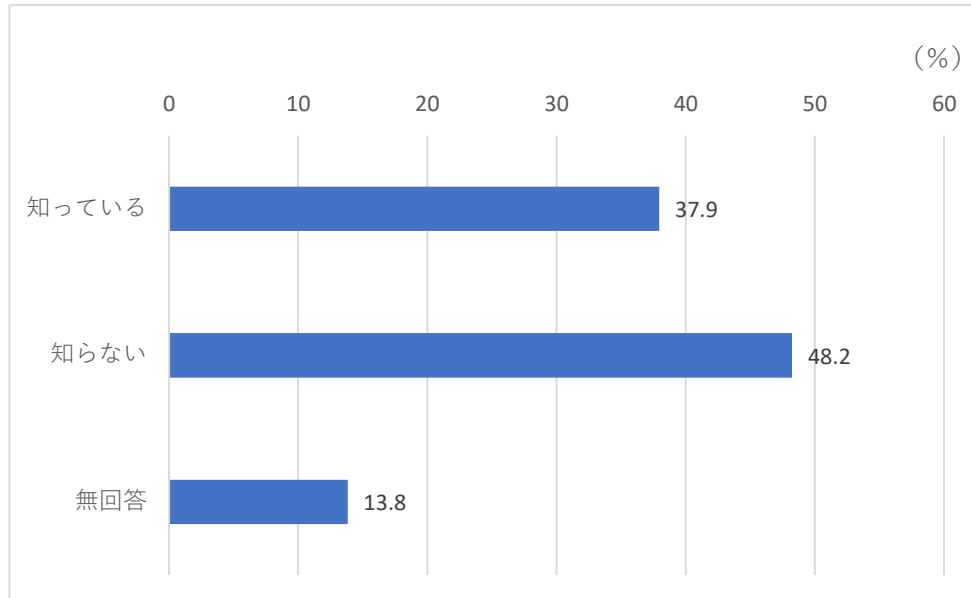
※問2-2で「所有していない」を選択された方は、質問は以上で終了

---

問3 汚水や雑排水について、公共下水道に接続することが法律で義務付けられていることはご存じですか？

---

「知らない」が48.2%である一方、「知っている」が37.9%であった。

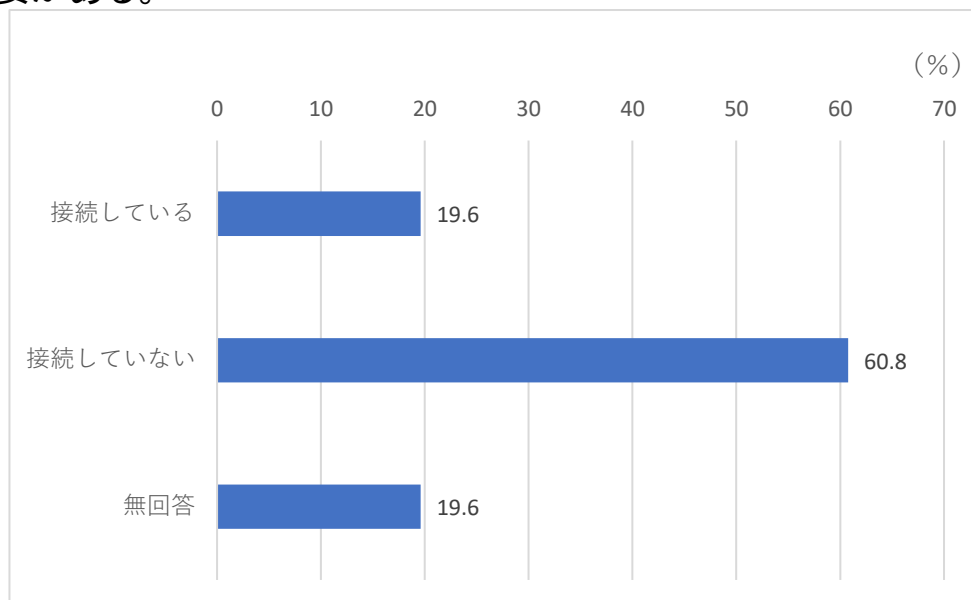


---

問4 汚水や雑排水について、公共下水道に接続していますか？

---

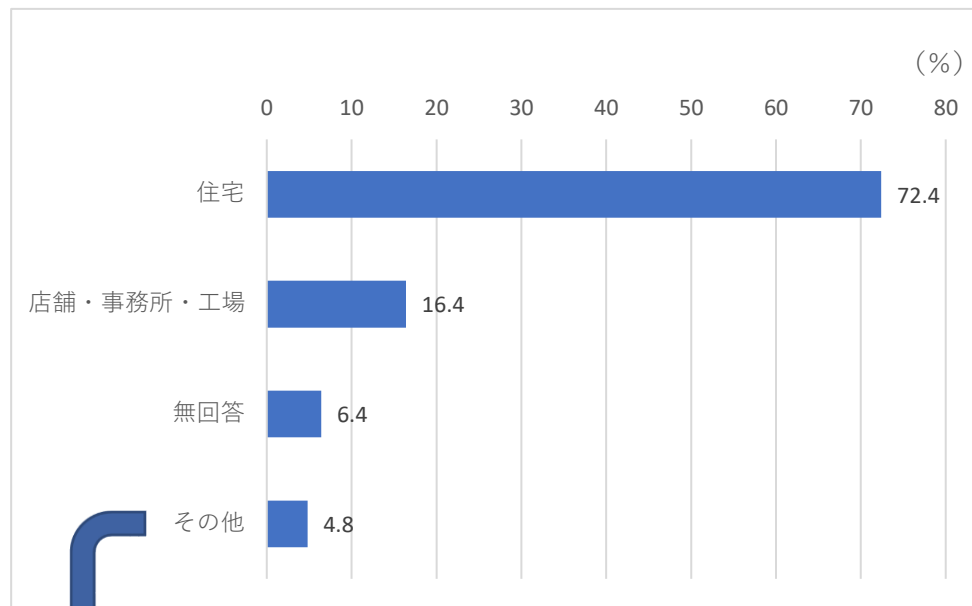
「接続していない」が60.8%、「接続している」が19.6%であったが、浄化槽と区別されていないことも考えられるため、今後それらの実態を把握していく必要がある。



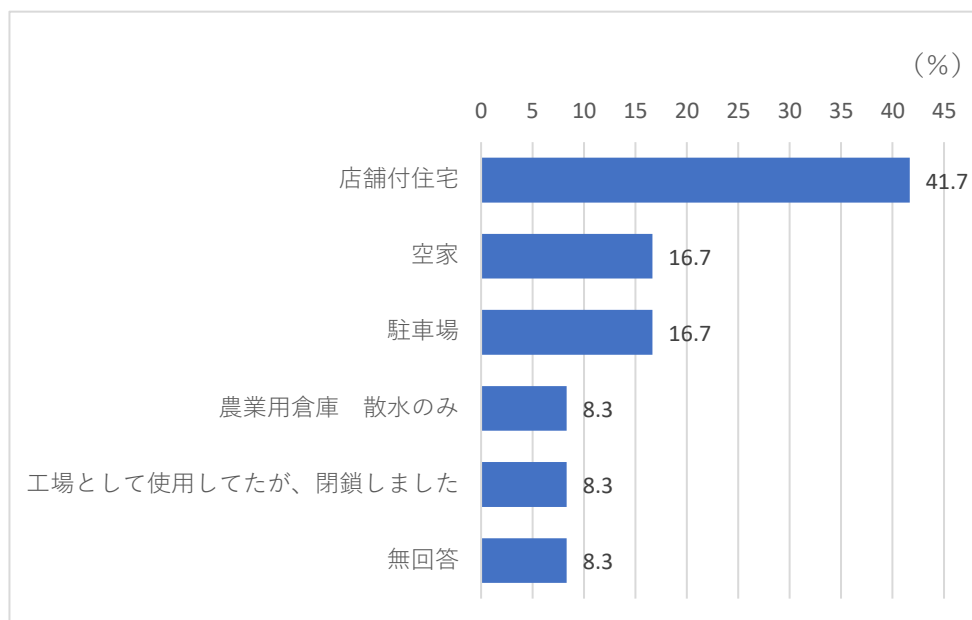
※問4で「接続している」を選択された方は、質問は以上で終了

## 問5 お住まいの建物の利用状況について

「住宅」が72.4%で、「店舗・事務所・工場」が16.4%であった。



### その他の内訳

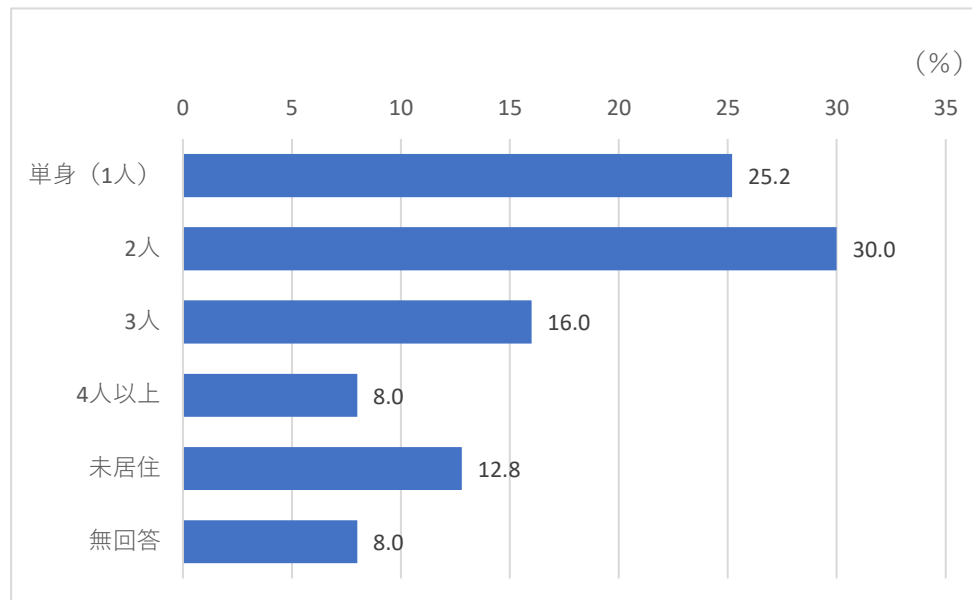


---

## 問6 家族構成について

---

「2人」が30.0%、「単身(1人)」が25.2%で、合わせて半数以上の割合を占めている。

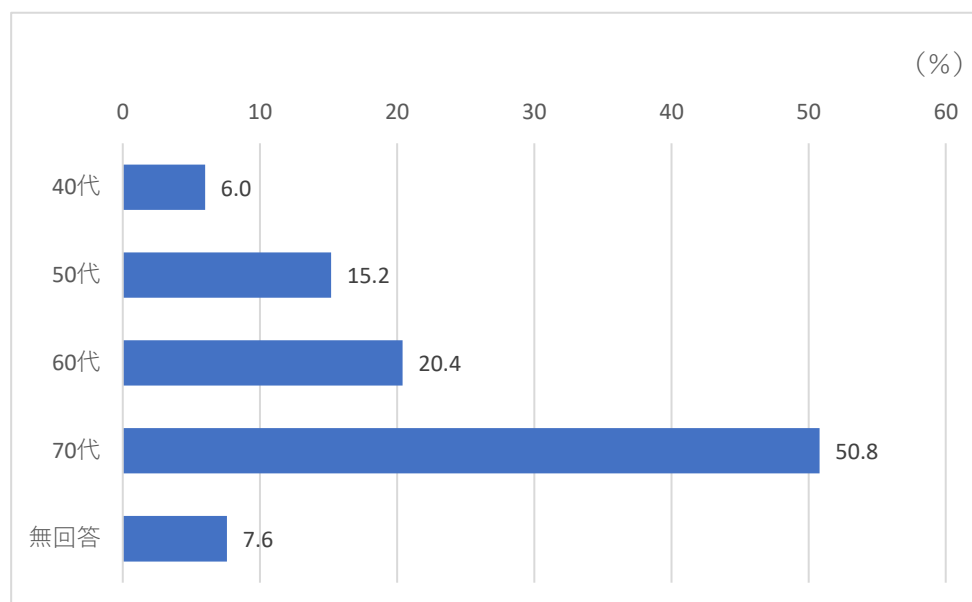


---

## 問7 建物所有者の年齢について

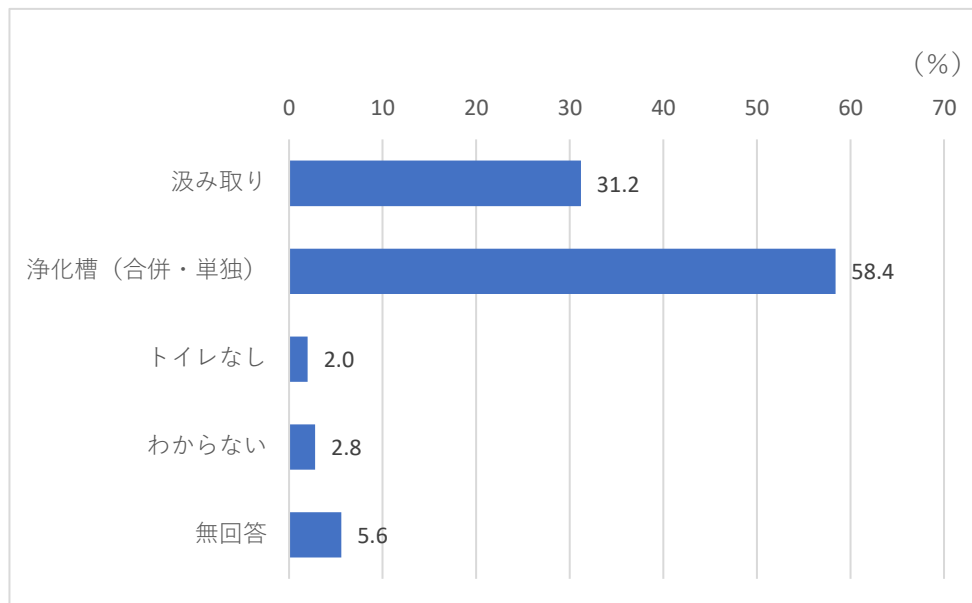
---

「70代」が50.8%、「60代」が20.4%と、約70%が60代以上である。



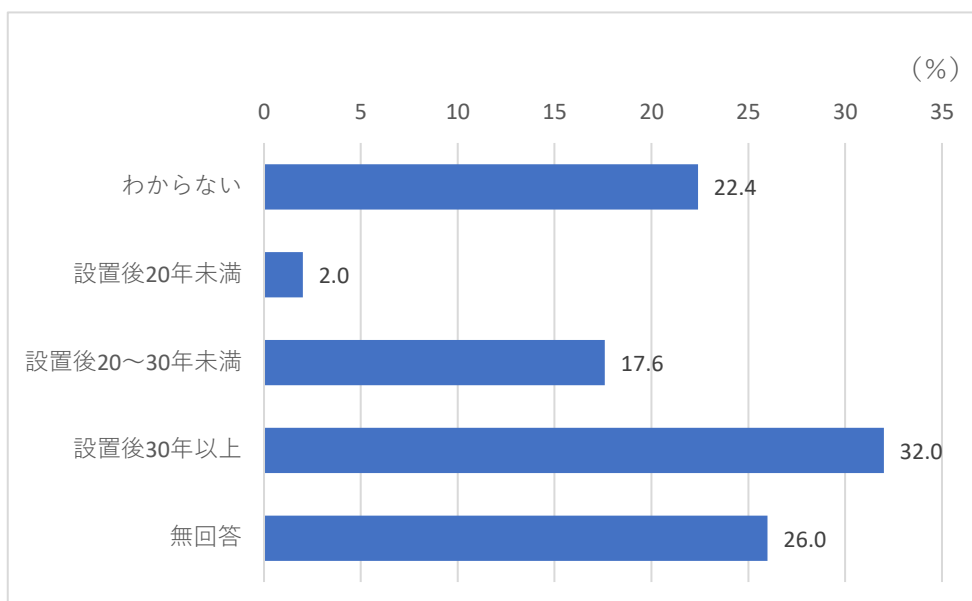
## 問8 トイレの処理状況について

「汲み取り」が31.2%に対し、「浄化槽」が58.4%であり、約60%が浄化槽である。



## 問9 浄化槽の設置時期について

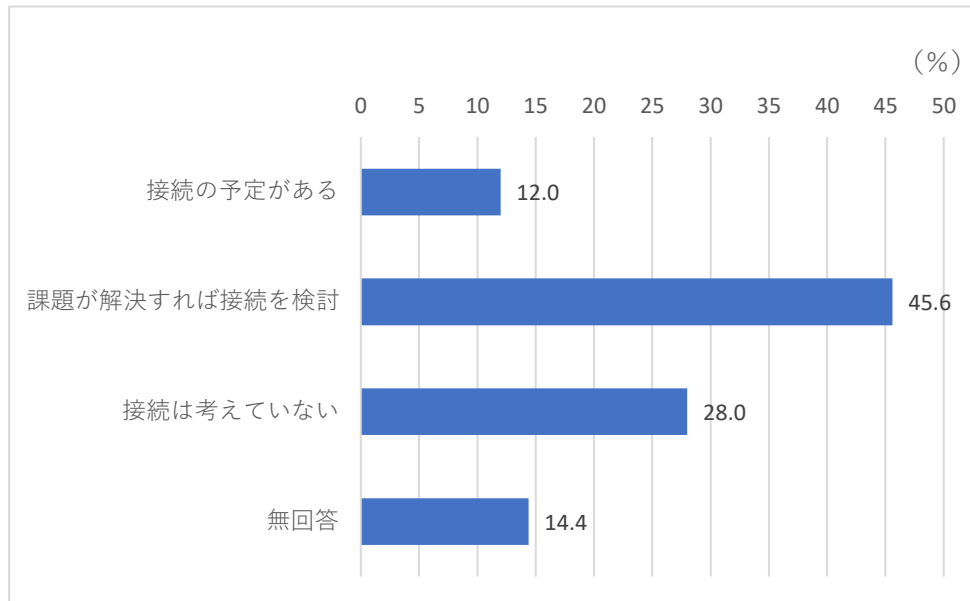
「わからない」と現状を把握されていない方が22.4%であった一方、一般的に耐用年数とされている「設置後20～30年未満」と「設置後30年以上」を合わせて49.6%であった。



## 2.今後の接続に対するご意向について

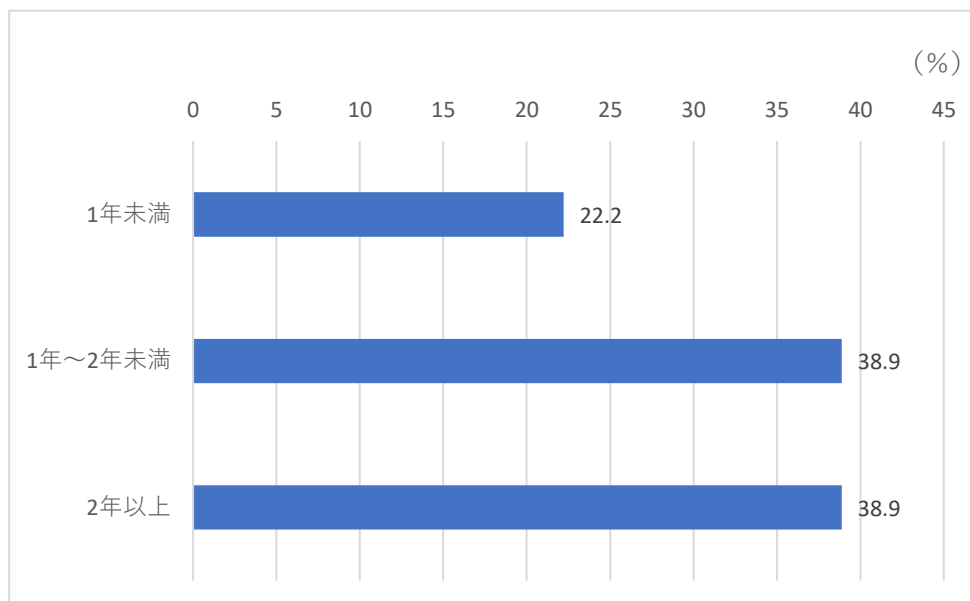
### 問10 下水道の接続について

「接続の予定がある」が12.0%、「課題が解決すれば接続を検討」が45.6%であった。



### 問11 問10で「接続の予定がある」と回答された方で、下水道への接続の予定について

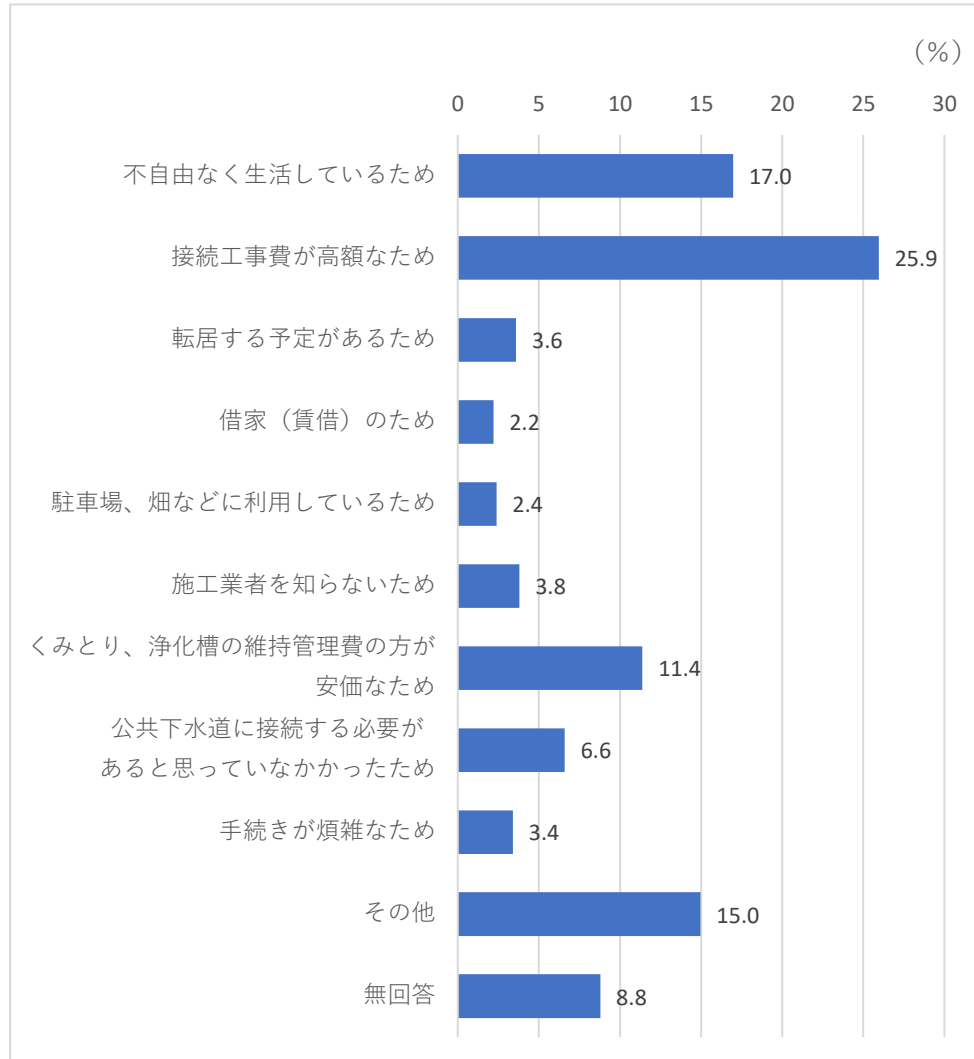
「1年未満」と回答された方が22.2%、「1年～2年未満」が38.9%で、2年未満で接続の予定がある方は約60%であることがわかった。





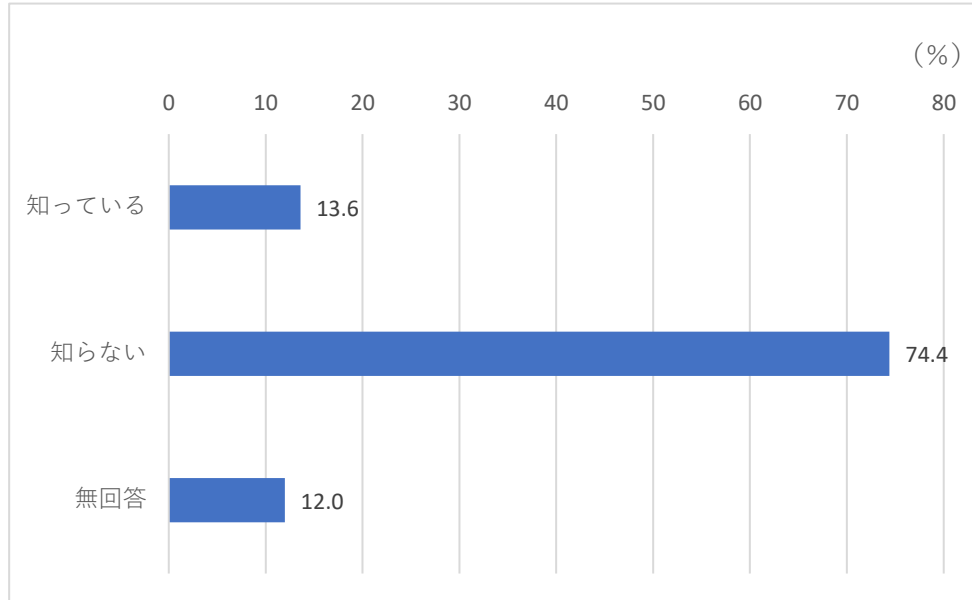
問12 問10で「課題が解決すれば接続を検討」、「接続は考えていない」と回答された方で、接続しない理由(課題)について(複数回答)

「接続工事費が高額なため」が25.9%、「不自由なく生活しているため」が17.0%で、費用面の課題と生活に支障がないことが占めていることがわかった。



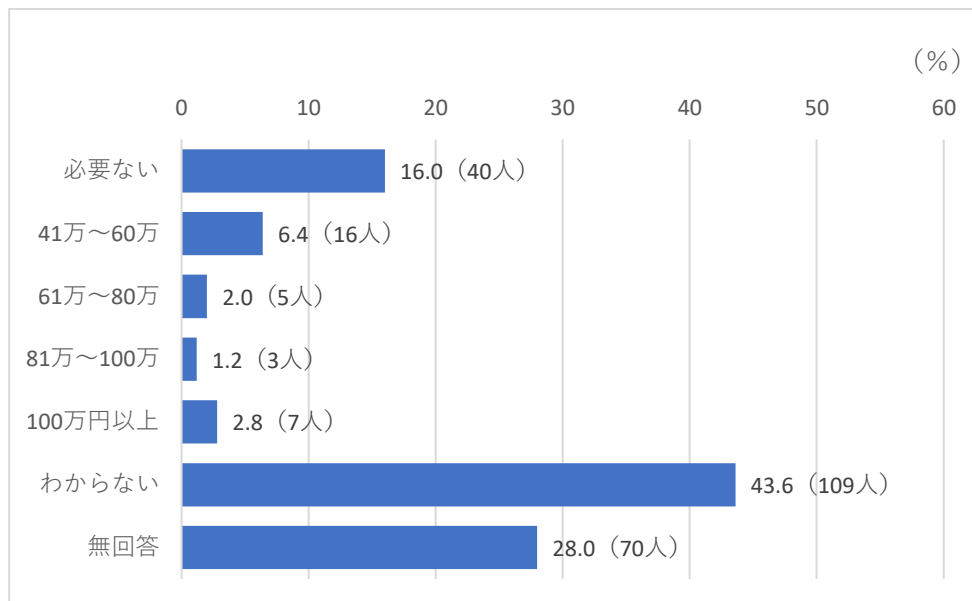
問13 寝屋川市が実施している融資あっせん制度があるのをご存じ  
ですか？

「知らない」が74.4%であり、制度の存在が知られていないことがわかった。



問14 どれくらいの融資額があれば改造工事を検討されますか？

「わからない」が43.6%、「必要ない」が16.0%であった一方、現在の融資額の40万円(戸建住宅等)を超える「41万～60万」が6.4%、「61万～80万」が2.0%、「81万～100万」が1.2%、「100万円以上」が2.8%であった。

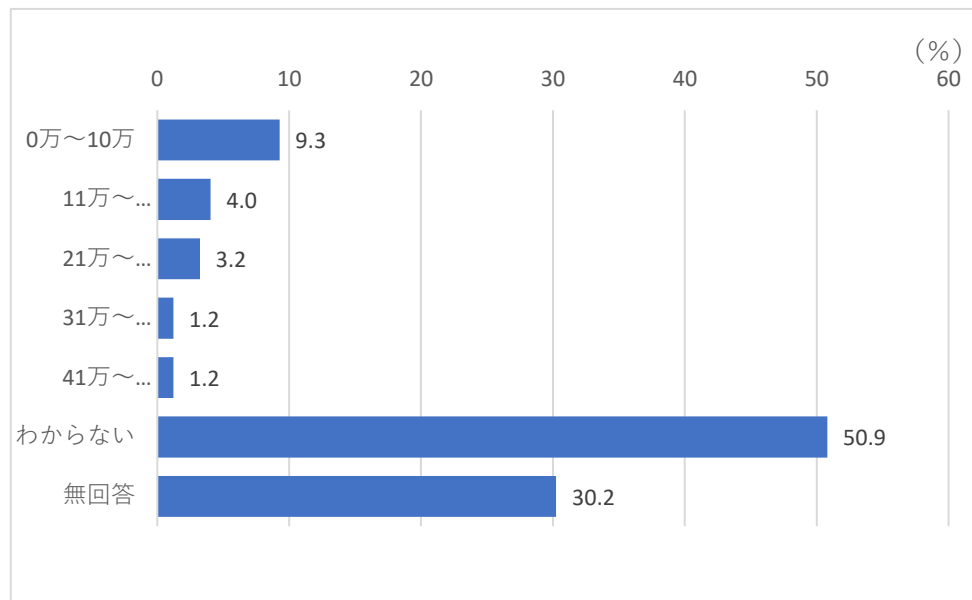


---

**問15 どれくらいの費用なら改造工事に支出できますか？**

---

「わからない」が50.9%、「0万円～50万円」が計18.9%であった。（自由意見として記入して頂き、平均金額は33.8万円）

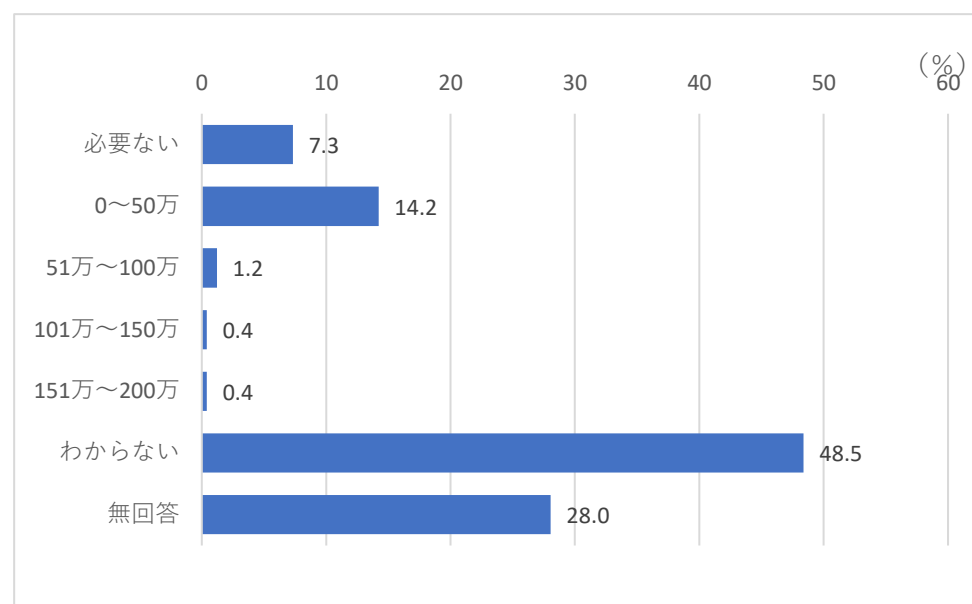


---

**問16 融資の他に、どれくらいの補助金があれば改造工事を検討されますか？**

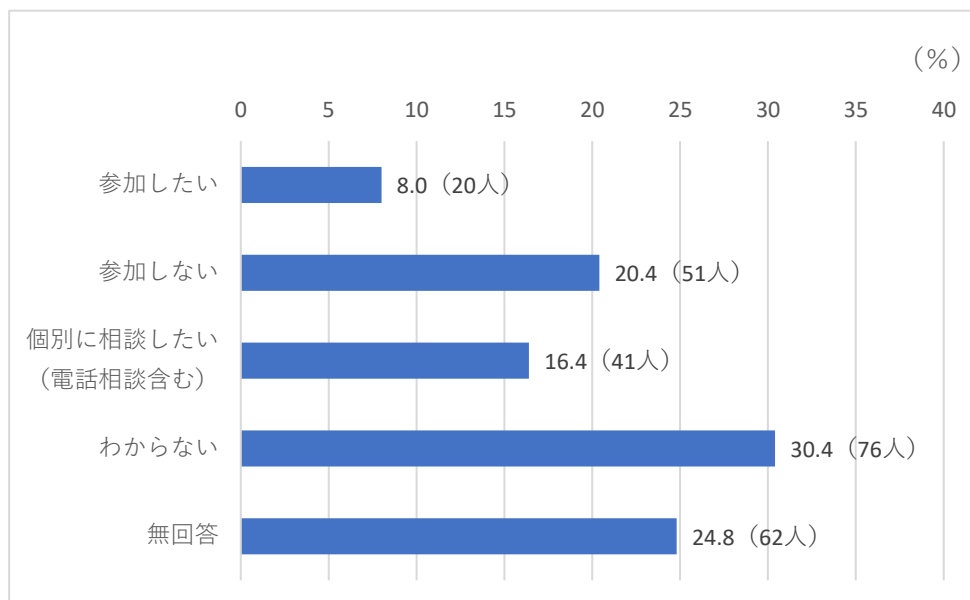
---

「わからない」が48.5%、「0～50万」が14.2%、「51万～200万円」が計2.0%であった。（自由意見として記入して頂き、平均金額は58.5万円であった。）



## 問17 公共下水道への接続相談会を開催した場合参加されますか？

「参加したい」が8%(20人)、「個別に相談したい」が16.4%(41人)であった。



## 調査結果について

令和4年2月1日現在の未接続件数は1,196件、水洗化率（下水道処理区域内の人口における水洗便所〔浄化槽によるものを除く。〕設置済みの人口の割合）は98.6%となっています。

これまでは、市広報誌等を通じて、下水道へ接続されていない世帯への助成制度の周知や水洗化に対する意識の向上に努めるなど水洗化を促進してきましたが、建物所有者等との面会等ができなかったことから、未接続の理由が明確に把握できなかった点や有効な支援策の検討ができなかった点などが課題としてあったため、調査を実施しました。

今回の調査では改めて、経済的、高齢による理由により接続されていない方が多かったことを確認しましたが、一方で新たに事務手続きの不備や工事内容の不透明さから接続を見送られていた方や建替え時期に合わせて接続を考えていることなど、接続の意向をお持ちの方がいることが明確になりました。

今後、接続の意向をお持ちの方を中心に、それぞれの状況に応じた個別相談の実施や融資制度の周知、水洗トイレ切替えまでの流れ等の普及活動に重点化して取組み、より一層、水洗化の促進をめざします。